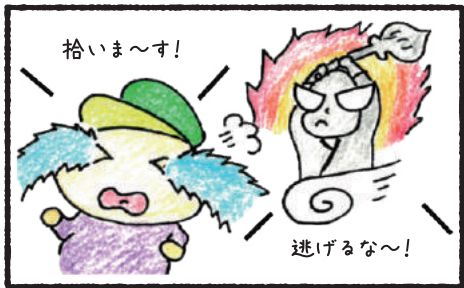
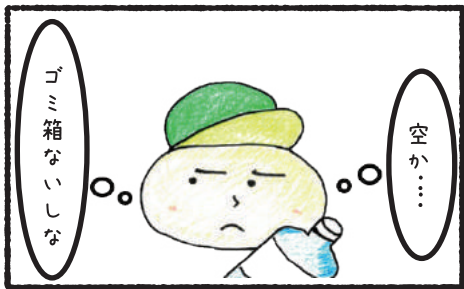


「のぶすま」最新号とバックナンバーを高尾山山頂にある、高尾ビジターセンターにて配布しております。
ご希望の方はビジターセンター窓口までお越し下さい。



作・絵：いしかわ

Twitterでふりかえる 高尾山ニュース！

高尾ビジターセンターのTwitter・Facebookをチェックしていただいているみなさま、いつもご覧いただきありがとうございます！
山頂の気温や天気、旬な自然情報などを毎日発信しています。
7月～9月の間のツイートから、注目のニュースをご紹介します。

← ツイート



高尾ビジターセンター【公式】
@takaovc

天気:曇 気温:20.0℃ 富士山展望:×

今朝はとても美しいキノコに出会いました。
調べてみると#キツネノハノガサという種類でした。
透き通ったカサはとても繊細なつくりをしています！

#高尾ビジターセンター



午前9:53・2022年9月3日・Twitter Web App

▲ ツイートアナリティクスを表示

61 件のリツイート 11 件の引用ツイート 464 件のいいね

今年の高尾山はキノコの当たり年だったようで、Twitterでは山内に生える様々なキノコを紹介してきました。その中でも、透き通るカサの美しい“キツネノハノガサ”は特に人気がありました！

解説員
こらむ
vol.31

カシノナガキクイムシが教えてくれたこと

皆さんは最近の高尾の森に異変が起きていることはご存知ですか？それは幹の大きな樹の葉っぱが茶色く変色したり、木くずが出たり、一部では完全に枯れてしまったものも見られます。

この樹が枯れる現象は、カシノナガキクイムシ（以下、カシナガ）という全長1cmにも満たない昆虫の仕業で、「ナラ枯れ」と呼ばれています。彼らはナラ類やシイ・カシ類などの大径木の幹に小さな穴を開けてその中で暮らしています。そして彼らが樹を枯らす菌を持ち込むことで樹が枯れてしまうのです。

最近になって高尾山でも被害が拡大したので新しい外来種による被害かと想像してしまいましたが、この昆虫は昔から日本にいた在来種です。カシナガによるナラ枯れの被害が拡大した原因は、近年、私たちの生活の変化により薪や炭林等が使用されなくなった結果、今までも樹が生長し、彼らの繁殖に適した雑木林や森が増加したことが理由の1つとして考えられています。

ナラ枯れによってこれまでの高尾山の風景が変わり、倒木や土砂崩れなどの危険が発生しやすくなります。私はできることなら伐採することなく回復して欲しいと思っているのですが、現状そうも言ってられません。人の影響によって変わってしまった森を元に戻すことはできないかもしれませんが、この山で働くスタッフとしてこの変化をきっかけに、今一度、森とカシナガと私達が共存していく方法を考える必要があると感じました。

〈解説員 おぎき〉

高尾山山頂から発信！

のぶすま

「のぶすま」とは
ムササビの古い呼び名です。



季刊
vol.69
2022年秋号

植物が消えてる…！？盗掘問題

植物編

高尾山は約1600種類の植物が生育している豊かな森です。中にはレンゲショウマやエビネなど希少植物に指定され自然公園法によって守られている種もあります。しかし、珍しく綺麗な植物を持ち帰ってしまう方が急増しています。そのため、高尾山から植物が姿を消してしまい、もう見られなくなった種もあります。

※自然公園法

国立・国定公園では、自然公園法第20条第3項第11号において、高山植物

その他の植物で環境大臣が指定するものを採取し、又は損傷することが規制されている。

希少種を初めとする植物の保護にも大きな役割を果たしている。



植物編 裸地化により元気がない植物… 踏み込み問題

高尾山に育つ綺麗な植物は高尾山が人気の理由の1つでもあり、一目見るために多くの登山客が高尾山に訪れます。しかし、近くで植物を写真におさめたいという思いから登山道から外れてしまうことが頻繁に起きています。このちょっとした一歩が実は気づかぬうちに植物たちを傷つけてしまっているのです。繰り返し多くの方たちが踏み込むことで植物が生育できない環境になってしまい、貴重な自然が傷ついている場所があります。



動物編 高尾山は動物たちのお家です！

豊かな自然が残る高尾山は、野生動物の生息地でもあります。高尾山に棲む哺乳類の中でも日没後約30分から活動するムササビは、観察しやすい動物でありムササビ観察会は今もなお人気が高いです。しかし、最近になりムササビに対する配慮に欠けた行動が目立ち始め、ムササビの生態及び生息環境に影響を与えていると報告されています。また、写真を撮るために人と野生動物の距離が近いことが懸念されています。



高尾山で起きている問題（観察マナー編）
都心からのアクセスも良く、豊かな自然を気軽に楽しめることから多くの人々で賑わう高尾山。しかし、裏では高尾山に棲む動植物を脅かす問題が深刻化している。

高尾山っ

れまし

vol.31

高尾山のゴミ問題、昔と今

高尾山に登っていてゴミを見かけたことはありますか？
世界一登山者が多い山としても知られる高尾山でのゴミとの戦いを見てみましょう。

高尾ビジターセンターには、約35年前に山内で投棄されたゴミの写真があります。今の高尾山では考えられないようなインパクトのある写真です。登山道沿いに生える樹の根元にたくさんのゴミで満たされたゴミ袋が積み上げられ、周辺には瓶や缶、お菓子の袋などが散乱しているひどい有り様が写されていました。まるで住宅街でカラスに好き放題にされたゴミ集積所のようです。なぜこんなことになっていたのか、歴史を振り返ってみましょう。

1967年、高尾山が明治1000年を記念して「明治の森高尾国定公園」に指定された同じ年の10月1日に京王線高尾山口駅が開業されました。高尾山口駅と北野駅を結ぶ京王高尾線の誕生です。戦後からのレジャーブームと都心からのアクセスの良さから、登山者が急増しましたが、その頃から設置されたゴミ箱では対処できないぐらいにゴミが山内にあふれ、前述した写真のような光景が至る所で見られました。山内の茶屋、薬王院、高尾登山電鉄が定期的に山内の清掃を実施しましたが、それでもゴミは一向に減らず、圧倒的なゴミの量に清掃だけでは解決が難しい状況でした。そこで1975年頃、地元の人々が新たな対策に乗り出しました。それが、山内のゴミ箱を全て撤去し、登山者にゴミ持って帰るように促す「ゴミ持ち帰り運動」でした。高尾ビジターセンターから放送でゴミを持って帰るように何度呼びかけを行い、登山者のマナー意識を

えるという大きな試みでした。始めた当初は、クレームが多くトラブルもありましたが、ゴミ持ち帰り運動は徐々に登山者の間で常識化していき近年では大きなゴミが見当たらなくなりました。1993年にはゴミの持ち帰りを訴える「おそうじ小僧」がケールブルカールの清滝駅前と山頂に設置され、運動のシンボリック的存在となっています。

ゴミが目立たなくなったことで、カラスの数にも変化がありました。大量のゴミが投棄されていた時代は都心に多いハシブトガラスが増え、山頂でゴミを漁る姿がよく見られました。ゴミ箱を撤去したことで、ゴミを餌にしていたカラスは減少し本来の暮らしに戻っていききました。今では大きなゴミは半分無くなりましたが、小さなゴミはまだ見られます。山頂では毎年タヌキのため糞場が見られますが、糞をよく見ると輪ゴムが混じっていることが多々あります。タヌキが輪ゴムを食べてしまっているようです。このようにゴミが自然に及ぼす影響は少なくありません。

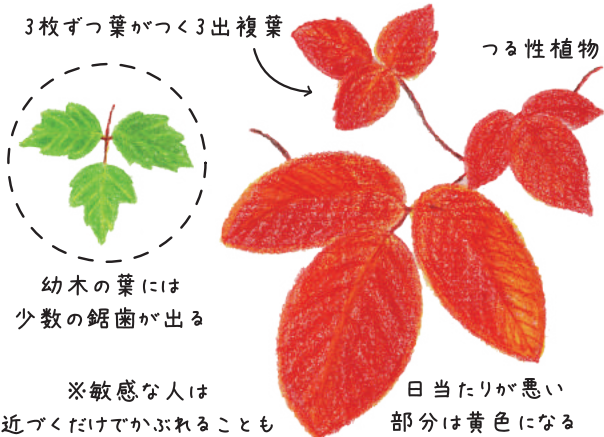
最近では、コロナ禍によりマスクが登山道によく落ちています。意図せず落としてしまうこともあるでしょう。高尾山の自然や野生生物の暮らしを守るためにも、私達が山にきた痕跡を残さぬよう落とし物やゴミには気を付けて登山を楽しみたいところです。

〈解説員 こばやし〉

解説員の
ちおし
vol.27

ツタウルシ

秋になると澄んだ美しい赤をまとう嫌われ者



漆が採れるわけでもなく、葉や樹液に触ればかぶれてしまう嫌われ者のツタウルシ。しかし、秋になるといち早く紅葉し、絡んでいる木の幹を澄んだ美しい赤で彩ります。

観察適期…10月～11月
見られる場所…1号路、5号路、稲荷山コースなど

〈解説員 うめだ〉

SNSに場所を載せないのがマナー

野生の植物たちは自然の中で咲いている方が美しいです。優しく見守りながら植物たちの成長と一緒に見届けましょう。

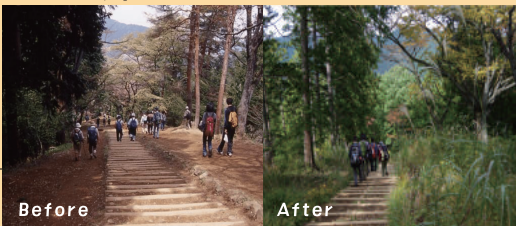
- 主な対策（ビジターセンター／東京都レンジャー）
 - ・注意看板の設置、マナー普及
 - ・GPSで希少種の位置を把握する

- 主な対策（私たちがでること）
 - ・情報の公開に気をつけること

素敵な植物を他の方に共有したい気持ちも大変分かります。しかし、残念ながらこの情報を悪用する方もいます。場所の詳細は載せないようにしていただけると植物たちも安心してのびのびと過ごすことができます。

- ・登山道を外れないようにしましょう

高尾山のコースには木段が設置されている場所があります。中には階段がきつくて避けたい方もいらっしゃるかもしれません。しかし、これも高尾山の植生を守るために重要な役割を果たしています。



「お邪魔します」という気持ちを忘れずに

高尾山の森は動物たちのお家です。「お邪魔します」という気持ちを忘れずに静かに観察しましょう。

- 主な対策
 - ・赤いライトもしくは赤いセロハンテープを貼ったライトを使うこと
 - ※赤い光は動物の目に優しいといわれています
 - ・長時間巣穴や野生動物にライトを当てないこと
 - ・声はマナーモードに。おしゃべりを控えお静かに
 - ・野生動物と距離をとる

ムササビをはじめ、野生動物が高尾山で安心して暮らせるようにご協力お願いします。



植物が受けてゐる被害

高尾山に咲く花を楽しみに来る登山客から「去年咲いていた〇〇が見当たらなかった」など特に希少種の植物が咲く時期は盗掘報告が多くなります。

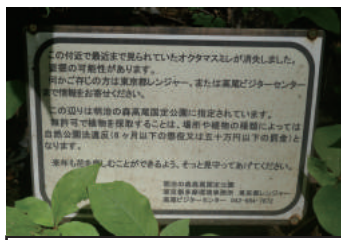
く姿を消した／減っている植物たち>

- ・オクタマスミレ
- ・フデリンドウ
- ・ベニシュスラン などなど

綺麗な植物たちを近くで見たい気持ちは大変分かります。しかし、軽い気持ちで踏み出した一歩によって植物たちは大きなダメージを受け、枯れてしまいます。頻繁に起きる踏み込みの影響で裸地化が進み植物が育たない環境になってしまったことも…。



オクタマスミレ
エイザンスミレとヒナスミレの雑種。



オクタマスミレが盗掘された為、東京都レンジャーが注意喚起看板を設置しました。



シモバシラ
冬の始まり12月～1月頃に氷華が観察できる人気の植物。踏込みの被害が多く見られる植物でもあります。



裸地化した地面。
踏まれてしまった植物は回復するまでに時間がかかります。

動物が受けてゐる被害



過去には、光が眩しく滑空中に地面に落下してしまったムササビや、ずっと使用していた巣穴を放棄したムササビも。ムササビの目は夜に適した仕組みを持っているため、ライトは私たちが太陽を直接見る時のようにとても眩しいのです。

野生動物を見たい気持ちが先走りちょっとした行動が野生動物の行動に悪い影響を与えていることがあります。特に観察時の…

- フラッシュを使用した写真撮影
- 明るいライトを巣穴や野生動物に直接あてる
- 巣穴近くでの大きな声でおしゃべり
- 野生動物に近づくと
- 野生動物にエサを与える



高尾山頂付近によく出没するアナグマ。登山客が落としたり、捨てた食べ物の味を覚えたことにより、人の近くによく現れるようになりました。

薬王院を中心に昔の人々が守り継いできた高尾山の森を、次の世代に残すためにも今起きている問題を知ることによって私たちに何ができるのかと考えるきっかけになればと思います。今回高尾山で起きている問題について取り上げました。高尾山に暮らす生きものや訪れる一人ひとりが、気持ちよく過ごせるようにのぶすま秋号を手にとったことを機会に一緒に高尾山の自然を守っていきませんか？〈解説員 うすい〉